



TECHNICAL INFORMATION

テクニカル インフォメーション

平成 25 年 1 月 (No.88)

三菱カラーペーパー用処理剤「MPC-22」市場導入のご案内

この度、三菱製紙株式会社は三菱カラーペーパー用処理剤として、新たに「MPC-22 処理剤」を市場導入することとなりましたので、ご案内いたします。

1. 名称

新タイプ名称 「MPC-22」 (現行タイプは「MPC-21」)

2. 特長

- ・ケミカル仕様 (キット容量、調液方法等)、及びミニラボへの基本設定条件 (処理温度、補充量等) については現行品 (MPC-21) と同等であり、これまでの設定や作業内容を変更することなく同様にお使いいただけます。
- ・現行品 (MPC-21) のタンク液に対し、新タイプ (MPC-22) の補充液を追い継ぎして、切り換えることが可能です。
- ・発色現像スターター (MPC-22 P-1S) のキット容量をボトル1本単位に変更しました。

3. ケミカル仕様

3-1) 製品構成とキット容量

表中の下線部分に変更となりました。

種 類	製品名称	構 成	キット容量	容器形状
発色現像補充剤	MPC-22 P-1R	1 液	10L 用 × 4 個	ポリボトル
発色現像スターター	MPC-22 P-1S	1 液	<u>1L × 1 個</u> *注	ポリボトル
漂白定着補充剤	MPC-22 P-2R	1 液	10L 用 × 2 個	ポリボトル
安定補充剤	MPC-22 P-3R	1 液	10L 用 × 10 個	ポリボトル

*注： P-1S のみ内容量を表記

P-1S 1L (ボトル 1 本) から、9.1L の発色現像タンク液 (母液) が調液可能です。
手順につきましては、MPC-22 調液シート (本資料に添付) をご参照ください。

3-2) 包材

- ・外箱 : 基調色を含む外観上のデザイン及びサイズに変更はありません。
- ・LotNo. : 9桁の数字にて表示。

4. 基本処理条件

現行品（MPC-21）からの変更はありません。

処理工程	略称	処理液温度	補充量	処理時間
発色現像	C D	38.0±0.3℃	60ml/m ²	45 秒
漂白定着	B F	35±3℃	60ml/m ²	45 秒
安定	S T B	35±3℃	250ml/m ²	1 分 30 秒以上
乾燥	D r y	50～70℃	—	—

5. 調液方法

5-1) 補充液の調液方法

液名	調液手順	仕上がり量
発色現像補充液 P-1R	①水 8 L を補充タンクに入れます。 ②P-1R 剤を 1 本入れ、1 分ほど攪拌します。	10 L
漂白定着補充液 P-2R	①水 5 L を補充タンクに入れます。 ②P-2R 剤を 1 本入れ、1 分ほど攪拌します。	10 L
安定補充液 P-3R	①水 9.9 L を補充タンクに入れます。 ②P-3R 剤を 1 本入れ、1 分ほど攪拌します。	10 L

5-2) タンク液の調液方法

液名	調液手順	仕上がり量
発色現像タンク液 P-1	①P-1R 調液済み補充液 3.6 L を調液タンクに入れます。 ②水 4.5 L を入れ 1 分ほど攪拌します。 ③P-1S 剤を 1 本入れ、1 分ほど攪拌します。	9.1 L
漂白定着タンク液 P-2	①P-2R 調液済み補充液 6 L を調液タンクに入れます。 ②水 4 L を入れ 1 分ほど攪拌します。	10 L
安定タンク液 P-3	①水 9.9 L を補充タンクに入れます。 ②P-3R 剤を 1 本入れ、1 分ほど攪拌します。 *補充液とタンク液は同じ液となります。	10 L

注：補充剤とスターターは、同名称製品による組み合わせでの使用が基本となります。
(例：MPC-22 P-1R は、MPC-22 P-1S と組み合わせ)

6. 処理剤の切り換え方法

6-1) 現行品（MPC-21）からの切り換えの場合

新タイプ品（MPC-22）の補充液を追い継ぎして切り換えることができます。

現在お使いいただいている MPC-21 補充剤（P-1R、P-2R、P-3R）がなくなり、次にミニラボにて新しい補充液を求めるメッセージが表示されましたら、必要とするパートの MPC-22 補充剤を補充タンクに調液してください。（ミニラボの設定を変更する必要はありません）

6-2) 初めて MPC-22 処理剤をお使いになる場合（他社処理剤からの切り換え等）

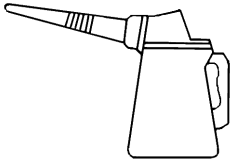

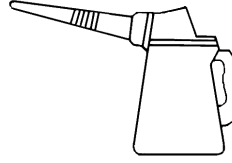
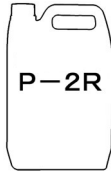
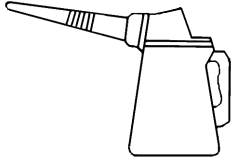

①ミニラボの設定（処理仕様）に「MPC-21」もしくは「MPC-22」がある
処理仕様設定を「MPC-21」もしくは「MPC-22」に変更し、ミニラボのセットアップを行うことで、MPC-22 処理剤をお使いいただく事ができます。

②ミニラボの設定（処理仕様）に「MPC-21」もしくは「MPC-22」がない
現在の処理仕様名のまま、手動にて処理温度と補充量の設定を変更する必要があります。
→ 添付の「MPC-22 処理仕様のマニュアル設定」を参考に設定を行ってください。

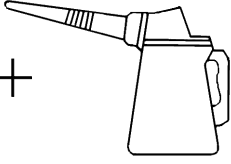
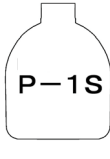
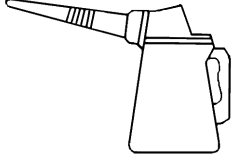
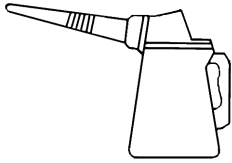

7. 導入時期

2013 年 1 月以降、順次切り換え致します。

補充液の調液方法

<p>C D 補充液</p>	<p>水 : 8.0 ℓ</p> 	<p>+</p>	<p>P-1R : 1 個</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>補充液 10 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">10 ℓ</div>
<p>B F 補充液</p>	<p>水 : 5.0 ℓ</p> 	<p>+</p>	<p>P-2R : 1 個</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>補充液 10 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">10 ℓ</div>
<p>STB 補充液</p>	<p>水 : 9.9 ℓ</p> 	<p>+</p>	<p>P-3R : 1 個</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>補充液 10 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">10 ℓ</div>

タンク液の調液方法

<p>C D タンク液</p>	<p>調液済み P-1R 補充液 3.6 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">3.6 ℓ</div>	<p>+</p>	<p>水 4.5 ℓ</p> 	<p>+</p>	<p>P-1S : 1 個</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>タンク液 9.1 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">9.1 ℓ</div>
<p>B F タンク液</p>	<p>調液済み P-2R 補充液 6 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">6.0 ℓ</div>	<p>+</p>	<p>水 : 4 ℓ</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>タンク液 10 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">10 ℓ</div>		
<p>STB タンク液</p>	<p>水 : 9.9 ℓ</p> 	<p>+</p>	<p>P-3R : 1 個</p> 	<p>⇒ 1分程度攪拌</p>	<p>タンク液 10 ℓ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">10 ℓ</div>		

* 補充液とタンク液は、同じ液を使用できます

* 調液に使用する水には、15℃～40℃の飲料用水道水をご使用ください。

* 機種毎の調液方法につきましては Grace ホームページにも記載しておりますのでご活用ください。

発色現像液（表示名：CD、もしくはP1）の処理液温度、基本補充量の設定変更手順

- ① 最初に「メンテナンス」画面を表示します
- ② **拡張メニュー** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ③ **プロセッサ設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ④ **処理液温度設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑤ 「CD (P1)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 38.0 °C に変更後、**YES/START** キーにて登録します
- ⑥ ひとつ前の画面に戻り、**基本補充量設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑦ 「CD (P1)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 60 ml/m² に変更後、**YES/START** キーにて登録します

漂白定着液（表示名：BF、もしくはP2）の処理液温度、基本補充量の設定変更手順

- ① 最初に「メンテナンス」画面を表示します
- ② **拡張メニュー** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ③ **プロセッサ設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ④ **処理液温度設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑤ 「BF (P2)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 35.0 °C に変更後、**YES/START** キーにて登録します
- ⑥ ひとつ前の画面に戻り、**基本補充量設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑦ 「BF (P2)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 60 ml/m² に変更後、**YES/START** キーにて登録します

安定液（表示名：STB、もしくはP3）の処理液温度、基本補充量の設定変更手順

- ① 最初に「メンテナンス」画面を表示します
- ② **拡張メニュー** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ③ **プロセッサ設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ④ **処理液温度設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑤ 「STB (P3)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 35.0 °C に変更後、**YES/START** キーにて登録します
- ⑥ ひとつ前の画面に戻り、**基本補充量設定** にカーソルを合わせ、**YES/START** キーを押します
- ⑦ 「STB (P3)」右側の **▲▼** をマウスでクリックし、値を 250 ml/m² に変更後、**YES/START** キーにて登録します

注意： 処理液温度や基本補充量を変更した後は、ミニラボのセットアップ（デイリーセットアップ等）を実施してください。